



連町通信

安全で安心して暮らせるまちづくりをめざして

発行

釧路市連合町内会

☎085-8505 釧路市黒金町7丁目5番地

釧路市役所内

電話 0154-23-5151

内線 6716

直通電話・Fax 0154-23-2101

「町内会加入促進強調月間」を迎えて！

釧路市連合町内会 会長 西村 毅



各町内会では、日頃から隣近所の付き合いを大事にし、互いに助け合う「相互扶助」の精神を基本として、住民が安全で安心して暮らせるまちづくりの推進にご努力されていることに対しまして衷心より敬意を表します。

さて、10月を迎えます。今年も、町内会加入促進強調月間として各地区連・町内会、そして釧路市及び道宅建協会釧路支部様との連携を深めて、加入率向上を図る取組みをしっかりと実施していきたいと思えます。

今日、高齢化や価値観の多様化などにより、町内会運営や事業活動が困難なこともありますが、町内会で実践している内容や今後の課題などについて、未加入家庭を訪問し、説明して理解いただく取組みがどうしても必要であります。「1町内会1世帯加入促進」を基本にしながらも、一人でも多くの加入者増に向けて頑張りましょう。なお、町内会加入促進委員会において市より下記の提案があり、市連町として取組むこととしましたのでお知らせしご検討をお願い致します。

「町内会離れに歯止めをかけるための取組み」検討のお願い

昨年度、新たな町内会が複数設立され、市連町に加盟いただいたにも拘わらず、総体としては会員減少が続いており、加入率が下がるという厳しい現況にあります。

（加入率：平成26年度末45.91% ⇒ 平成27年度末45.16%）

市連町といたしましては、「まずは大半の人が未加入という現状を打破すること」が喫緊の課題と考えており、下記の取組みについて、それぞれの単位町内会（単町）、地区連合町内会（地区連）で地域の実情に合ったご検討をいただきたいと考えております。

なお、特例を設けることで悪影響を及ぼす場合も想定されますので、決して強制するものではありません。

取組1 単身アパート・マンション居住者に対する特例を設けた勧誘について

高齢者や学生など一人暮らしのアパート・マンション居住者で活動参加が厳しいとされている方について、会費の減免や回覧板を回さないなどの特例を設けることで加入を促さないか単町ごとに一度ご検討願います。

なお、会費を軽減する単身者については、街路灯費用分のみを負担されている方などと同様、正規の会員と一定の区別（活動保険対象からは除外、環境美化活動の加算額算定における地区連所属世帯からは除外等）を行うこととなります。

取組2 公営住宅自治会に対する特例を設けた地区連への勧誘について

地区連加盟による新たな負担が厳しいとされている公営住宅自治会のある地区連に後日、特例を設けることにより加入を促さないか市連町事務局から意向を確認しますので、地区連ごとに一度ご検討願います。

なお、今後は、以上の取組みなどにより町内会とつながる世帯を含めた場合の加入率も把握していく考えです。皆様の深いご理解とご協力をお願い致します。

平成28年度 釧路市連合町内会
パークゴルフ大会 開催

平成28年8月27日(土)、市連町恒例のパークゴルフ大会が、釧路市河畔 PG・太平洋 PG・阿寒町富士見 PG・音別町 PG の4会場で、244名が参加し開催されました。

雨続きの中でも天気に恵まれ、参加の皆さんは元気に熱戦を繰り広げ、表彰式では沢山の賞品があたり、大好評でした。



太平洋PG場



河畔PG場



阿寒町PG場

入賞者一覧(各会場7位まで)

(敬称略)

区分 順位	釧路市河畔PG				釧路市太平洋PG			
	男性		女性		男性		女性	
	氏名	打数	氏名	打数	氏名	打数	氏名	打数
優勝	林 捷	87	山田りつ子	99	津梅 静雄	101	佐藤 ムツ	107
準優勝	鈴木 健三	94	歌野 禮子	100	斉藤 学	102	宮下 秀子	108
3位	金行 功	94	秋田五人子	101	吉田 武正	104	宮内美智子	109
4位	工藤 康智	96	滝井 美子	105	馬淵 功	108	越田 英子	111
5位	高橋 武	96	山内 秀子	106	寺田 興春	108	吉田由紀子	113
6位	赤澤 擴	98	鎌田すみ子	107	能登 勝司	108	大和テル子	113
7位	山澤 忠雄	98	飯屋崎悦子	107	阿部 寅雄	108	加藤 澄子	115

区分 順位	釧路市阿寒町PG				釧路市音別町PG(ハーフ)			
	男性		女性		男性		女性	
	氏名	打数	氏名	打数	氏名	打数	氏名	打数
優勝	溝江 義男	100	谷藤 康子	101	佐藤 信義	47	森本 佳江	45
準優勝	紺野 文男	100	勘川 敏子	102	加須屋勝治	48	山本 トミ	48.5
3位	原 政雄	101	佐藤 禮子	102	佐藤 由蔵	48.5	青野 政子	50
4位	新堀 正	102	田中喜枝子	104	竹田 運	49	村上 好子	51
5位	佐藤 四郎	103	高橋 教子	105	照井 芳春	49	川口津栄子	52
6位	菅野 武	103	松本 悦子	107	村上 博彦	50.5	志賀セツ子	53
7位	松永 勝幸	104	堂端スミ子	109	高田 兼雄	51.5	黒崎 富子	54.5

声かけて、町内会を広げよう！

「明るく、安全・安心な、子どもを見守る」町内会を目指して

鶴野東かがやき町内会 会長 田中 英樹

私たちの住む「鶴野東かがやき町内会」は、鶴野ニュータウンと呼ばれる新興住宅地であり、子育て世代が多い活気溢れる地域です。街灯が未整備で夜が暗いという地域の問題を最優先に解決するため、昨年10月に町内会を設立し、早急に街灯を整備しました。街灯の「かがやき」で夜も明るく、安心して歩けると会員の皆さんから大変喜ばれており、町内会の意義を十分に感じていただけているものと思っています。

設立2年目となる今年度は、町内会が地域の公園(かがやき公園と命名)の里親となり、公園を中心に清掃活動を定期的に行っています。親子でゴミ拾いを行っている姿を見て、改めて子どもたちが地域活動を体験できる場としても町内会活動は意義あるものであり、



設立して良かったと感じています。また、「かがやき公園」を会場に夏休み中はラジオ体操を開催した他、9月末には会員同士の顔が見える交流を目的に親睦会を開催する予定です。

会員数は、設立時から少しずつ増えており、現在120世帯となりました。今後も「明るく、安全・安心な、子どもを見守る」地域を目指し、会員の皆さんの意見を聞きながら活動していきます。

わが街この街 シリーズ 67

～地域との連携が 町内会の活力に繋がる～

南大通中央町内会 会長 佐藤 文昭

私達の住んでいる「南大通中央町内会」は、釧路発祥の地であり、賑わいを極めた南大通(旧真砂町)の中央に位置しており、昭和12年頃に互助精神を持って商店主が作った納税組合が発展的に町内会に移行し、釧路で二番目に古い町内会です。

しかしながら時代の変遷とともに、わが町内会も街の空洞化、住民の減少、少子高齢化が進み、少数世帯の町内会となっています。町内会活動の中心は、町の安全を図る事を柱に、「会員相互の交流の促進」を一番に掲げ、活動を橋南西部地区全体に広げ、橋南西部地区連への積極的な参加・交流を進めています。たくぼく公園の清掃は、たくぼく商店街・しんきん南支店との共同の事業とし地域との交流を図る事を目的に進め、町内会で取り組んでいた「子ども盆踊り大会」も橋南西部地区連主催で橋南地区全体の「ちびっ子盆踊り大会」として地区老人クラブ・町内会そして小

学校とも連携した大きなお祭り変わってきました。また、当町内会の総会や親睦会(焼肉交流会)には、近隣の町内会へも参加要請し交流を図り「橋南地区に暮らす皆さん全員知り合いに！」を目標に取り組んでいます。

私達の町は釧路発祥の地として、其々夢を持って移り住んできた人たちによって育まれた相互扶助の心が脈々と続いています。私達は、町内会活動を通して、古い歴史を大切に地域共存の心を持って、この地域でお互いが安心して暮らせるまちづくりを考えています。



1. 元気で働き、明るく豊かなまちをつくりましょう。
1. きまりを守り、安全で安心な住みよいまちをつくりましょう。
1. 緑を育て、自然豊かなきれいなまちをつくりましょう。

1. 人にやさしく、心ふれあう温かいまちをつくりましょう。
1. 文化を高め、命を尊ぶ平和なまちをつくりましょう。
1. 郷土を愛し、世界に誇れるまちをつくりましょう。

みんなでつくろう ゴミのないまち きれいなふるさと

熊本地震災害義援金
ご協力ありがとうございます

熊本地震に係る災害義援金の取組みについて、7月末で義援金額 3,626,759 円、362 町内会(36 地区連)のご協力を頂きました。

8月4日、日本赤十字社北海道支部釧路地区長 蝦名大也市長に寄贈を行いました。

ご協力に感謝とお礼を申し上げます。



釧路市連合町内会
第3回 理事会報告

平成28年度第3回理事会が9月7日(水)開催されました。協議事項は次の通りです。

【報告事項】・熊本地震災害義援金・くしろ港まつり踊りパレード・パークゴルフ大会

【協議事項】・町内会活動研修大会・婦人の集い・道東都市町内会長大会実行委員会・地域ふくし講座・青少年健全育成大会・町内会加入促進強調月間の取組み・秋の自主清掃、等について協議が行われました。

町内会のお祭り等は届け出を

町内会のお祭り等で公園を使用される際に、櫓やテントの等の占有物設置や火気使用を伴う場合は、公園使用許可申請が必要となっています。(通常は公園での火気使用は厳禁です。)申請書は市公園緑地課で配布していますので、直接お越し頂くか、電話でご相談ください。

(釧路市公園緑地課 ☎31-4557)

今日

明日

釧路新聞は昭和21年11月、東北北海道新聞という名前でこの釧路の地で産声を上げました。後に戦前であった「釧路新聞」の題名を譲り受けて紙齢を重ね、おかげさまで今年創刊70周年を迎えることができました。その中で昭和40年には連合町内会の結成にも関わらせていただきました。町内会活動はまさに地域に根ざした住民によるまちづくり活動です。人々のいきいきとした様子の紹介こそ郷土紙の大事な役割と思い、現在の「素敵わが街イキキタウン」に

つながる専門コーナーを設けて町内会の皆様を長年取材させていただいております。

近年、情報媒体は大きく変化し、特にデジタル化の進展でインターネット

「釧路新聞創刊70周年を迎えて」

釧路新聞社 代表取締役社長 片山 裕子

ットを使った情報伝達の速さと規模は驚異的なものがあります。とはいえ基本になるのは、提供される情報の信頼性です。釧路新聞にはこの釧路・根室地方の隅々まで張り巡らされた取材網と、皆さまとの間で長年

培った信頼関係という財産があります。この財産を生かし、誠実に真剣に地域のことを考え、日々を生きる皆さまの暮らしに役立つ新聞であり続けます。

時代の変化とともに産業の盛衰、人口の増減などを我々は経験していくのでしよう。この地域が生きていくために何をしなければならぬのか、皆さまと共に考え、提言し、実行のお手伝いのできる郷土紙であるために、全従業員が心を合わせて努力してまいります。これからも「釧新(せんしん)」をよろしくお願いたします。

主な行事予定

- 10月18日(火) 婦人の集い
 - 10月27日(木) 道東都市町内会長大会
 - 11月26日(土) 青少年健全育成大会
- ※次回の連町通信は、11月25日発行です。



赤い羽根
共同募金

連町通信は、赤い羽根共同募金の支援を受けて発行しています。